

## 会 議 録

会議の名称		第 5 回豊中市環境審議会(第 15 期)	
開催日時		令和 8 年(2026 年)2 月 26 日(木)	
開催場所		書面会議	公開の可否
事務局		環境部ゼロカーボンシティ推進課	傍聴者数
出席者	委員	前迫委員、今西委員、加我委員、紀伊委員、小島委員、小谷委員、諏訪委員、余田委員、中村委員、小西委員、荒起委員、井上委員、鈴木委員、竹之内委員、廣田委員	
議題		1.第3次豊中市環境基本計画の進行管理について ・令和 8 年度「協働の取組みに関する意見交換会」について 2. その他(連絡事項)	
資料		資料 1:書面開催の流れ及び議案内容の要点について(説明資料) 資料 2:意見書 資料 3:表決書 資料 4:令和 8 年度「協働の取組みに関する意見交換会」企画(案) 【意見反映】資料 4:令和 8 年度「協働の取組みに関する意見交換会」企画(案) 参考資料 1:「協働の取組みに関する意見交換会」に関する参考資料 参考資料 2:第 15 期環境審議会委員名簿 参考資料 3:豊中市環境審議会規則	
審議等の概要 (主な発言趣旨)		【本会議の開催方法について】 ① 「資料 4」についての意見を「資料 2」に記入し事務局へ提出。 ② 委員意見を反映した「【意見反映】資料 4」について「資料 3」を事務局へ提出。 ③ 「資料 3」の返信期日までの提出をもって会議への出席とした。 【表決結果】 賛成 15 名 反対 0 名 【案件に対する意見一覧】 別紙のとおり	

別紙 意見一覧

資料 4: 令和 8 年度「協働の取組みに関する意見交換会」企画(案)

No	委員意見	事務局回答
1	<p>「都市のみどりや地域の身近なみどりの創出」について意見交換会を実施することは意義があると思います。一方、意見交換会に参加する団体は限られているので、できるだけインパクトがあり、波及効果が期待できる取組みとなることを期待します。</p>	<p>現在の活動団体等だけではなく、関連する団体や活動団体同士の新たなつながりが持てる機会となること、また、多様な視点からのアイデアなどから、テーマの発展につながるよう参加団体についても考慮し、進めてまいります。</p>
2	<p>2 ページの下から 3 行目  「活動団体等同士が繋がる機会とする。」について  内容に問題はありませんが、文章の書き方として、「活動団体等同士が」という表現が読みにくいです。「活動団体等が互いに交流できる機会とする。」「活動団体等が互いにつながる場とする。」などもう少しわかりやすい文章にされてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見の通り修正いたします。</p>
3	<p>以前、意見交換会を傍聴させていただいた折、議論の中心が事業及び活動紹介に終始し、協働への取組みについての言及が限定的でした。会の進め方として、情報共有に終始するのではなく、より未来的かつ建設的な意見交換の場となるよう、ファシリテーションの方法をご検討いただければと思います。  例) 市内外で協働事業として緑化事業等に取り組んでいる事例を示し、それぞれの立場から意見を述べる。小グループに分かれて、参加者(行政職員を含む)の発言機会を増やし、多様な意見が出るように工夫する。※実現可能性に固執せず、それぞれの立場から見える現状を共有するようなイメージ。</p>	<p>情報共有だけではなく、そこから一歩未来へ踏み出していけるアイデアのヒントなどについてより多く意見交換ができるよう、進め方に工夫をし、協働の取組みの発展につながるよう引き続き検討していきます。</p>

No	委員意見	事務局回答
4	<p>昨年度の審議会にて、2026 年度に今回と同様のテーマ案を考えているという説明があり、昨年度の審議会の際に私からはテーマ設定に疑問である旨の発言を行った。直近の 2 年間、目標3のテーマを続ける一方で、このタイミングでテーマ4を持ってくることを昨年度から予告するといった矛盾がある。意見交換会に【とよなか花いっぱい大作戦】を盛り込みたいという観点があるのかもしれないが、それ以外に例示されている取組みはいずれも長らく継続されている取組みであり、このテーマを実施したいのであれば、2025 年度に目標3を連続で行うのではなく、2025 年度にこのテーマを実施しておけばよかった。</p>	<p>令和 6 年度実施の第2回審議会(15 期)において、令和 7 年度(2025年度)テーマ設定について、「子ども服リユース」と「とよなか花いっぱい大作戦」をご提案し、「子ども服リユース」をテーマに行うことをご承認いただきました。当該審議会において、「とよなか花いっぱい大作戦」をテーマにすることについては、「市で行う一事業をテーマとすることについて、テーマの範囲が適当ではない」、「すでに豊中市内で活動している団体や事業者の参加、事業の再構築により協働の要素を盛り込んだ内容とすること」などのご意見をいただいております。そのご意見をふまえ、市内で活動する市民・事業者における協働の推進について、より幅広く多様な意見交換を実施するためテーマを再考いたしました。</p> <p>「協働の意見交換会」の設置目的からも、できるかぎりテーマ目標が偏りのないよう配慮することが望ましいと考えております。一方で、当該審議会において事務局からご説明しました通り、目標の順番にこだわりすぎるのではなく、協働事例の中で、協働の取組みに関する意見交換会での取組みの成果の共有が活発にされることに重きを置いてテーマを決定したいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
5	<p>テーマの選定理由があまりにもありきたりである。次年度に実施するのであれば、「グリーンインフラによるまちづくり基本方針」を受けて、グリーンインフラとしての機能に沿った取組みを事例にするといった方向性とし、グリーンインフラの機能実現に向けて関わりのある団体等に参加を呼びかける方が理解できる。</p>	<p>いただいたご意見をふまえ、テーマ選定理由(背景)について別添資料の通り修正をしました。また、参加団体についてもいただいたご意見をふまえ検討してまいります。</p>
6	<p>意見交換会の開催方法についての記載がない。「行政とのパートナーシップだけでなく、活動団体等同士が繋がる機会とする」ことが【ポイント】であるなら、発表する数団体だけでなく、各制度に登録する団体に広く参加・傍聴を呼びかけることができる【公開】の形で開催することが望ましい。</p>	<p>開催方法については、企画案にそって今後検討を進めてまいります。例年の会議開催方法に固執せず、よりよい会議開催となるよう、参加団体・開催方法を含めて検討してまいります。</p>

参考資料 1:「協働の取組みに関する意見交換会」に関する参考資料

No	委員意見	事務局回答
1	<p>公園整備や花いっぱい運動など、市民が参加しやすく、景観向上や地域交流に寄与する取組が進められている点は、大変意義があると考えます。</p> <p>一方で、「都市のみどり」には、生物多様性の保全や気候変動適応など、多面的な役割があると考えられます。また、花壇等で使用される園芸植物については、管理状況によっては逸出し、外来植物となる可能性が指摘されていることから、緑化の量だけでなく「質」の観点も含めた議論ができると望ましいのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、ホームページを拝見しますと、パナソニックホームズ株式会社本社ビルの屋上において、市とも連携し、ビオトープを管理している取組があるように存じます。このような生物多様性に配慮した都市型の緑地管理の事例や、自然環境保全に関わる市民活動等も含めて紹介することで、本テーマに対する理解がより深まり、協働の広がりにつながると考えます。</p> <p>意見交換会が、都市のみどりの多機能性や質的側面についても考える機会となれば、豊中市の今後の緑施策の発展に資するものと期待しております。</p>	<p>いただいたご意見をふまえ、テーマ選定理由(背景)について別添資料の通り修正をしました。</p> <p>都市環境における「みどり」への役割の多様化に対応するとともに、市内の質の高いみどりの保全・創出と、良好な都市景観の保全・創出など、地域の特性を活かした個性豊かなまちづくりをさらに推進していくため、本会議が有意義な会議となるよう会運営に努めてまいります。</p>
2	<p>参考資料はわかりにくいですが、2 団体が対象となるということでしょうか。市で認識している同様の活動をしている団体の中で、どの程度の規模や活動量に位置付けられるのか、活動場所に地理的な偏りはないか、偏りがあるなら、他の団体にどのように意見交換の成果を波及させるのか、など、効果的な取り組みとなることを期待します。</p>	<p>資料が見つらく大変申し訳ありませんでした。参考資料1については、直近の豊中市内の活動についての一部例示として参考資料とさせていただきます。</p> <p>参加団体については、現時点では未定の状況ですが、「資料4」No1 での意見での事務局回答のとおり、様々な視点から参加団体についてはこれから調整していきたいと考えております。</p>

No	委員意見	対応
3	【NPO 法人花と緑のネットワークとよなか】の活動として、「花いっぱい運動」と「とよっぴー」配布」が書かれているが、この 2 つは NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 のプロジェクトの1つである「花と緑のネットワーク」の取組みであり、内容の説明として適当でない。	
4	「NPO 法人花と緑のネットワークとよなか」の参加について、次回の意見交換会は今年度と同様であれば 2026 年 6 月頃になると想像するが、市が「とよっぴー」の製造中止を決めて、製造の終わりが近づくタイミングであり、活動現場である緑と食品のリサイクルプラザの周辺の「とよっぴー農園」もいったんは休止しないといけないタイミングではないか。意見交換会は、前年度の活動に対する評価という意味合いが主ではあるものの、今後のあり方も議論していく中で、参加・発言を求めるのは酷だと考える。現時点ですでに当該団体のメンバーと調整をしてから提案しているならともかく、そうでないならば、団体側の事情や心情も配慮して選定することが必要なのではないか。	【再掲】資料が見つらく大変申し訳ありませんでした。参考資料1については、直近の豊中市内の活動についての一部例示として参考資料とさせていただきます。 参加団体については、現時点では未定の状況ですが、「資料4」No1 での意見での事務局回答のとおり、様々な視点から参加団体についてはこれから調整していきたいと考えております。
5	【豊中緑化リーダー会】と【NPO 法人花と緑のネットワークとよなか】については、個別の団体であり、それぞれの活動を通して行政等と協働をしているのはわかる。一方で、【公園等自主管理活動】【愛護活動】【みどりのカーテンづくり】【とよなか花いっぱい大作戦】は、いずれも市の制度や取組みであり、記載しているそのものが個別の団体ではないことから、それぞれの制度や取組みについて、どれくらいの団体等の参加があり、それぞれの参加団体とどういった点で協働しているのかを説明してもらいたい。	